

臨床薬剤学特論 I		選択	秋学期	1 単位
担 当 者 〔研究分野〕	大竹 史明 〔先端生命科学〕 竹島 秀幸 〔先端生命科学〕 田村 英紀 〔先端生命科学〕			
到達目標・ 目 的	様々な分野における最先端科学的知見を学び、薬学および創薬研究に必要な高度な知識を習得する。			
受講心得・ 準備学習等	薬学および基礎的な科学的知識を予め整理し理解しておくこと。			
事後学習・ 復 習 等	理解できなかったポイントをノートにまとめ、専門書や担当教員を通じて問題解決に取り組む。			

授業の方法と各回の内容

授業の方法		講 義	
回	項 目	内 容	担当者
1	ユビキチン・プロテアソーム系概論	ユビキチン・プロテアソーム系の分子機構と多彩な機能	大竹
2	ユビキチン系と疾患	神経変性疾患、炎症性疾患など病態との関わり	大竹
3	タンパク質分解創薬	ユビキチン・プロテアソーム系を標的とした創薬の進展	大竹
4	ゲノムの基礎とゲノム医療	ゲノムの構造と機能、及び、その情報を利用したゲノム医療について	竹島
5	エピゲノムが関わる生命現象と疾患	エピジェネティクス修飾の役割と関与する生命現象、及び、その異常が起こす疾患について	竹島
6	エピゲノム診断・治療・予防	エピゲノム異常を利用した疾患の診断・治療・予防法について	竹島
7	神経科学概論	神経科学研究の歴史と発見について	田村
8	神経科学基礎	脳の研究の仕方について	田村
9	神経科学特論	記憶はどこまでわかったのか？	田村
10	課題演習	授業に関する課題をレポート形式でまとめる	田村

成績評価の方法	出席および授業態度、課題演習（レポート）で総合的に評価する。
成績評価の基準	出席および授業態度、課題演習（レポート）で 60 点以上を合格とする。
教科書	随時、講義内容に応じてプリントを配布する。
参考書など	
そ の 他	